小中高を見通した系統的・継続的な12年一貫教育

智辯学園
和歌山小学校

愛のある教育を実践します

小・中・高12年一貫教育
CHIBEN GAKUEN
平成29年度版

理事長 **藤田清司**

Message

のびのびと いきいきと こどもたちの夢を育てたい

智辯学園和歌山小学校は、二十一世紀が要請する叡智と深い人間性を備えた真のエリート、つまり「真」・「善」・「美」・「聖」の高い価値を身につけた人材を育成するために、2002年4月10日開校しました。

智辯学園和歌山中学・高等学校は開校以来39年、この和歌山の地で六年一貫教育を基軸とした教育を営んでまいりました。今日まで智辯学園が一番大切にしてきた教育の理念、それは「能力の最大伸長」と「人間性の陶冶」、つまり自分の能力の可能性を信じ、豊かな心を持つ人に育ってほしいとする、総ての親の願いに応える教育を進めるということです。この教育理念のもとに推進してきた学園教育は、確実に実を結び今日に至っています。この教育をさらに大きく発展させるために、学園がいままで実践してきた中・高一貫教育に小学校を加え、小・中・高を見通した系統的、継続的な十二年一貫教育に歩を進めたのです。

智辯学園和歌山小学校は、小・中・高を見通した教育軸の中で受動的知識の習熟の教育から能動的知識の習熟の教育プログラムを構築し、あわせて、豊かで喜びのある、何事にも意欲的にとりくめる人間性を育むために「こころ」の教育を推進し、十二年一貫教育だからできる教育を通して、のびのび・いきいきと「こどもたちの夢」を育てたい、そのような教育を実践しています。

愛のある教育を実践します

― 三つの好き ―

子どもは‥‥　学校が。学ぶことが。先生が。―好き

親は‥‥　子どもが。学校が。先生が。―好き

先生は‥‥　子どもが。教えることが。学校が。―好き

そのような子どもと親と先生で創る学園でありたいと願っています。

校長 大寶 英明

十二年一貫教育を実践する小学校

小学校・中学校・高等学校までを同じキャンパスで過ごす……
そのような十二年一貫教育が出来るのも、これまで実践してきた六年一貫教育の
確たる実績に裏付けられた自信があってのことです。

坂道をのぼって登校

朝のおつとめ

昼休憩、グランドで遊びます

昼休憩、元気に遊びます

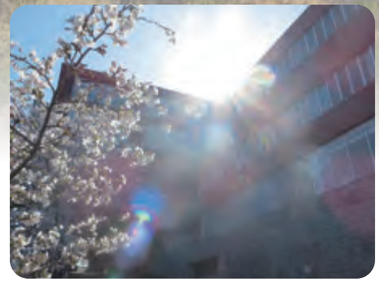
学園キャンパス全景

山崎山（根美山）古墳群の模型

校舎の入口にやってきた
アカテガニ

学校の斜面に咲いた
タカサゴユリ

初夏の中庭をいろどる藤の花



朝日に輝く校舎

坂道に咲いているサツキ

自然に囲まれた小高い丘に立つ学園、校門から校舎に至る坂道の桜に始まる学園の四季、キジ鳩が雛を育てる姿も見られる藤棚、梅雨時期にはこの丘から海へ産卵に向かうアカテガニ、時折校庭の片隅で草をはむウサギの姿など、学園の自然は気持ちを落ち着かせてくれます。

豊かな小学校教育を実現するために
ふさわしい教育環境を

学園の高台から、和歌浦の海に沈む夕日が眺められる。小学校の建物は、この夕日の方向を主な軸線として、構成され展開されてゆく。

新設校舎と既設講堂の新旧2つのシンボルをバランス良く配置することで、キャンパスの北面に新たな顔を表現し、内装は感性を育むというコンセプトのもとに、南面にある大きな天窓から、四層吹き抜けの最下のエントランスホールへ太陽光が降り注ぎ、宇宙を表す大型美術陶板と相まって、幻想的な雰囲気を創出している。

画一化された空間ではなく、抑揚と変化に富む、包まれるような優しさや、暖かさを感じられるよう内外空間の演出を試み、『小学生』という年齢を生きる子どもたちに、豊かな感性を育てる学びの器となることを強く希求し、それが設計の原点である。

玄関ホール

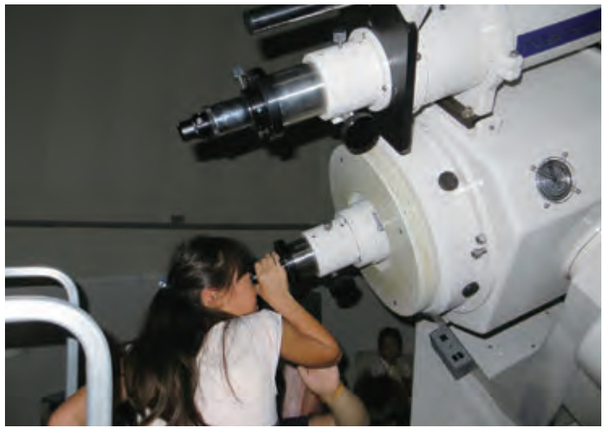
田植え

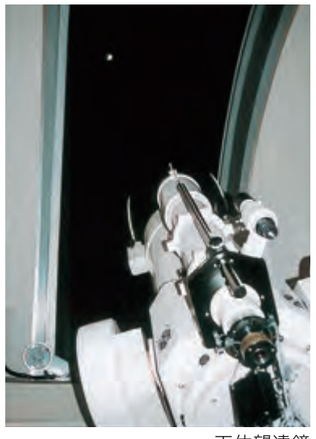
いもほり

稲刈り

子どもたちの夢が大きくふくらむ、
学ぶことが楽しくなる、
好奇心が沸き起こってくる、
そんな生活の場を願って。

とれたお米でおにぎり昼食


親子で星を観る会


天体望遠鏡

望遠鏡から
見た土星

北西外観

デッキ広場

小学校専用グランド

和歌浦の海に沈む夕日

ひとりひとりの意欲を伸ばす あたたかい教育

楽しい学校であるために

子どものキラキラした目の輝きに秘められた豊かな好奇心を大切に育て、学ぶことの、知ることの喜びと感動を充分に経験させたい。子どもたちにとって楽しい学校にしたいと思っています。では、楽しい学校とはどのようなことを意味するのでしょうか。それには、まず授業がよくわかることです。子どもたちは本来、“知りたい”、“何でもやりたい”、“分かりたい”と真剣に願っているものです。本当に考えることが大好きなのです。そののぞみを十分にかなえてやりたいと考えています。

つぎに、大好きな友達がたくさんいることです。その友達とおもいきり、学び、遊べる学校生活はきっと楽しいはずです。また、先生が大好きというのも絶対に必要です。私達は「いつも子どもとともに」を大切にして、何事にせよ学校全体で感動が共有できる学園にしていきたいと思っています。

一方、保護者の皆さんとも、しっかりとスクラムを組んで子どもの教育ができるよう、できるだけ多く保護者の皆さんが参加できる行事を考えています。保護者の皆さんとの、しっかりとした理解と、信頼関係があってこそ、子どもたちは安心して、学校生活を送ることができます。子どもの未来づくりのためにお互いに何ができるのか。ともどもに頑張りたいものです。

この学校に来てよかった。この学校に来させてよかった。皆さんの子どもを受け入れてよかった。それぞれが心からそう思える。子どもと、親と、先生とが一体となった、明るく、楽しい学校づくりを大切にしています。

姉妹校コーニッシュカレッジの歓迎会

文化祭の合奏

珠算の授業

パソコンの授業

オーストラリアからの
留学生とともに

天神崎での生き物観察

梅干し作り

みそ作り

一貫教育

十二年一貫教育だからできることがある。小学校から高校までの恵まれた教育環境の中で、次をみすえてのきめ細かな指導を着実に実施することが可能になります。豊かな知性と清らかな情操。一人ひとりが強い意志をもって、創造力を働かせながら個性と感性を育んでいける教育を、それぞれの時期にふさわしい形で実践していきます。

図書室

しっかりとした学力の土台を

小学校は基礎学力をつける大切な時期です。6年間を通して次のステップへ進むための基礎となる確実な勉強が必要です。いま、教育界は理数系離れ、学力低下、子どもの意欲や創造力の欠落が問題視されています。学力低下、そのもっとも根源的なことは、「能力を発揮する訓練が行われていないということ」です。また、基礎学力とはそのことを示す言葉なのです。つまり、どのように勉強したらよいのかわからなくなっているのです。植物にも開花して実をつけるまでに、それぞれの大切な時期があるように、知的能力にも訓練して開花させるのにふさわしい時期があります。発達段階に応じて、しっかりとした基礎学力を総合的に身につけなければなりません。そのための徹底を期していきたいと考えています。

専科制と教科担任制

教科・学年の状況に応じて、専科制と教科担任制を導入します。各教師が専門的な知識を持つ教科を担当することで、密度の高い学習と、わかりやすい授業が可能となります。また、低学年ではチームティーチング制をとり入れ、子どもたちの学習・学校生活により安心感のもてるものにしたいと考えています。

情報教育

ネットワーク社会といわれる現代社会において、情報教育にも力を入れています。まず、コンピュータに慣れることから始め、考える道具としての利用法、さらには情報化時代に生じてくる、人間の関係性の変化、学ぶことのあり方の変化など、さまざまな状況に対応するための基礎を培うことができればと考えています。

英語教育

子どもは、新しい語彙や考え方を吸収しようとする生まれ持った好奇心やすばらしい能力を持っています。そのような子ども本来の能力から考え、1年生からEタイム(英語活動の時間)を設定しています。ただ、英語に対する早期英才教育を目指すものではなく、広い視野を持つ国際人としての資質の向上に役立つよう、英語に親しむことを目的にしています。特に低学年では、英会話入門、音声の学習を中心に、楽しく英語の初歩を学ぶために取り組んでいます。

豊かな人間性を

教育の目的が人格の完成を目指すことにある以上、「心」の教育は極めて大切です。本校では仏教の教えに基づいた宗教的情操による“情感をはぐくむ教育”の実践を通して、心の豊かな、品性をもった人間の育成をはかります。具体的には、(1)　週1時間宗教の時間を設定し、人と心の問題を学ぶ。(2)　毎月1回感謝祭を行い、「父母の恩に感謝する」、「衆生の恩に感謝する」、「天地の恩に感謝する」、「三宝の恩に感謝する」ことを学ぶ。(3)　毎朝始業前のひととき「御真言・御宝号」をとなえ、決意新たに一日の活動を開始する。(4)　あらゆる機会、あらゆる生活の場で、「情感をはぐくむ教育」を行い、感謝と奉仕のできる人間に成長するように努める。これらが特に心がけていく点です。

強い体・ねばり強い心

何よりもこのことが根底になければならないのは周知のことです。「からだ」と「こころ」をきたえ、何事にも意欲的にとりくめる教育を大切にしています。その実践のための学校行事・課外活動を考え、心と体をつくるのはむろんのこと、個人の責任感、みんなで協力することの大切さ、みんなで達成したときの充実感を育成したいと考えています。また、小学校では「遊び」も人間形成における重要な教育の一つです。「いつも子どもとともに」をモットーに、遊びの中でも、先生と子どもとの触れあいを大切にしています。

行　事　ーひとつひとつの行事を大切にしたいー

いつもー生懸命
取り組んでいます。

七タ飾りを作ります

水泳教室

夢に向かって

運動会の練習　みんなで力を合わせて！

古墳塚に参拝

ちまきをおいしくいただきました

クラブ活動

ひなまつり

節分

警察音楽隊の演奏でいっしょにダンス

Eタイムの授業
アメリカからの留学生とともに

七タまつり

毎月

●授業参観と保護者会を催します。　●感謝祭を行います。

4月
- ●一学期始業式
- ●入学式
- ●新入生保護者会
- ●健康診断

5月
- ●端午の節句
- ●避難訓練
- ●春の遠足
- ●親子学校見学会（幼児）

6月
- ●水泳教室
- ●臨海学校

7月
- ●七タまつり
- ●入試説明会
- ●林間学校
- ●一学期終業式
- ●個別面談

8月
- ●個別面談
- ●親子で星を観る会
- ●保護者懇談会

9月
- ●二学期始業式
- ●夏休み作品展
- ●中・高体育大会

10月
- ●運動会
- ●秋の社会見学
- ●中・高文化祭
- ●秋の収穫

11月
- ●入学試験
- ●音楽鑑賞会

12月
- ●文化祭
- ●個別面談
- ●二学期終業式

1月
- ●三学期始業式

2月
- ●節分
- ●修学旅行（オーストラリア）

3月
- ●ひなまつり
- ●卒業式
- ●三学期終業式
- ●個別面談

運動会

全員で力を合わせてがんばります。

がんばって入れよう

しっかり引っぱれ！

声を合わせて1,2,1,2

力が入ります

えい,えい,おー

強い絆で結ばれたウェーブ

全校ダンスで一つになった

文化祭

みんなでもりあげました。

作品の鑑賞

歴史上の人物に変身

2年生の発表です

1年生　大きな声で演じました

智辯学園奈良校の和太鼓部の演奏です

みんなで盛り上げたよ

5年生の合唱　集中して大きな声で歌います

臨海学校・林間学校

大阪府立青少年海洋センター（5年）
高野山（3年）
白崎青少年の家（1,2年）
田辺スポーツパーク（4年）

キャンプファイヤー

朝のつどい　ラジオ体操

大海原をバックにパチリ

仲良くいっしょに

カッター体験

ヨットの乗り方を学びます

いかだ体験

大伽藍へ移動します

春の遠足

万葉館・片男波公園（2,5年）
根来山げんきの森、緑花センター（3,4年）
紀伊風土記の丘（1,6年）

勾玉づくりに挑戦

砂のアート

万葉館で、たくさんのことを学びました

緑花センターを見学しました

おいしいよ、
お弁当

リサイクルやリユースの
勉強をしたよ

秋の社会見学

松田商店、和歌山市立こども科学館（1,2年）
大阪ガス　ガス科学館（3年）
和歌山県農業試験場、
和歌山ノーキョー食品工業（株）桃山工場（4年）
大阪歴史博物館（5年）
ピース大阪、大阪市立科学館（6年）

大阪歴史博物館の見学です

大阪ガス　ガス科学館を見学しました

和歌山市立こども科学館で
力くらべをしました

オーストラリア修学旅行

メルボルンにある姉妹校を訪れ同世代と楽しく交流し、
たくさんの想い出ができました。
また、シンガポールでも貴重な体験ができました。

シンガポールの植物園で

姉妹校コーニッシュカレッジを訪問しました

コアラもポーズ？

アボリジニィ・ペインティング
みんなで仕上げました

オペラハウスにて

オーストラリアの友といっしょに

楽しい仲間たちと記念撮影

ブーメランを飛ばします

大自然の中でカヌーの体験

飛行機からのながめは最高

おいしい
フルーツが山もり

入学式

今日から小学校生活の
スタートです。

2年生に祈り鶴をかけてもらいました

感謝の心と堅い絆
そして未来へ

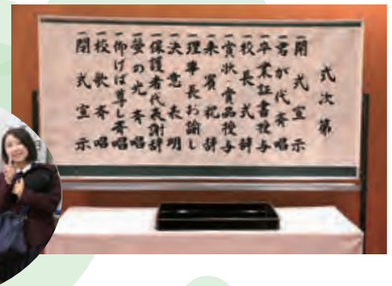
さあ、入学式ですよ

2年生に手を引かれて入場です

はい、がんばります

卒業式

大きく成長して、
卒業しました。



理事長先生の
お諭し

一人ひとり卒業証書を受け取ります

決意表明

六年間、楽しく一生懸命勉強しました

中学校・高等学校（一貫教育）

明るく元気に登校してきます

出会いと交流の中で学び発見していく

六年一貫教育

現今の学校制度は、戦後の改革による、いわゆる６・３・３制ですが、これには改革当初からいろいろな問題がありました。その一つは、中学、高校ともに３年間という短い年限で分断されてしまっているということなのです。その上、その間に高校入試という関門があるため、殊に中学３年生は、どうしても目先の目標にとらわれて、知識のつめこみに終わってしまい、真の学力をつけるための勉強ができません。また、中学教材と高校教材に重複した面もかなり見られますが、これも３・３制の分断システムでは解決のしようがありません。

高校入試の問題・教科内容の重複・難易の差・ゆとりある学校生活等々を考えます時、これを解決していくには、どうしても中・高一貫した学校生活を確立して、教育課程を考えていくことが必要となってまいります。六年一貫教育の中でこそ、無用な足ぶみや、無理な疾走や、無意味な重複を避けることができ、可能な部分をどしどし進んだり、時間をかけるべきときは十分に時間をかけたりするなど、腰をすえての素質開発が可能です。また、精神的に、六年一貫した人間教育が施せることは、学校離れを起こし、非行化に走りやすい中・高校生の生活を、正常の軌道に乗せる上からも重要なことと考えます。

つまり、本学園の六年コースは、精神的成長段階にふさわしい人間教育を施し、綿密な教育計画のもとに、いかなる大学の入学試験にも合格できるよう、十分な学力がつけられる教育の実践をねらいとしています。

マルチビジョンルーム

視聴覚教室（小講堂）

大学合格状況

国・公立大学

大学名	24年	25年	26年	27年	28年	29年
東京大学	14	6	5	8	8	10
京都大学	16	13	14	20	18	7
大阪大学	16	13	25	10	15	21
神戸大学	14	10	14	9	17	15
国公立大医学科	59	56	50	45	65	44
国公立大学合計	191	189	191	176	208	186

私立大学

大学名	24年	25年	26年	27年	28年	29年
早稲田大学	32	15	12	22	29	17
慶応大学	18	10	9	14	10	16
同志社大学	60	59	58	56	59	67
私立大医学科	25	33	38	34	48	43
私立大学合計	360	324	376	347	430	412

※文部科学省管轄外大学校合格者も含む

智辯学園和歌山中学校・高等学校は、和歌山県当局の強い要請と藤田照清　前理事長の私学教育に懸ける熱意とが醸成し、昭和53年４月に開校した。爾来39年間、知力の徹底的訓練を期した教育は、確実に実を結び大学進学の実績は全国のトップレベルに位置する。なお、本年度から新しい学習内容について、よりきめ細かに対応するため、一校時を60分とした。一方、感動を共有する学園教育の一翼を担う野球部の活躍は、近年とみにめざましく、平成に入ってから春・夏甲子園において、優勝３回、準優勝３回と、まさしく智辯学園の時代を迎えている。
特に、平成24年夏には、夏の甲子園大会８年連続出場という記録を樹立した。

「智辯学園奈良カレッジ」もいよいよ充実し、
智辯学園三校が大きな柱となってさらなる発展をめざします。

新たなるステージへ　12年一貫教育を実践する小学部の入学式

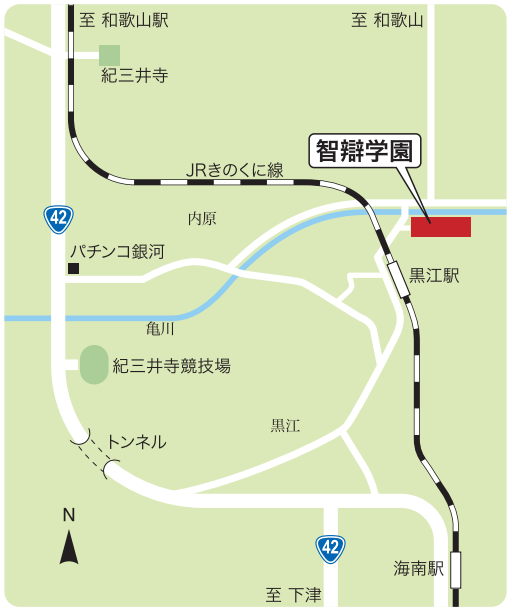
21世紀に飛翔する智辯学園

智辯学園高等学校（昭40.4）
智辯学園中学校（昭42.4）
奈良県五條市野原中4丁目1-51
TEL.07472-2-3191

智辯学園和歌山中学・高等学校（昭53.4）
智辯学園和歌山小学校（平14.4）
和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL.073-479-2811

智辯学園奈良カレッジ（平16.4）
小学部・中学部・高等部
奈良県香芝市田尻265番地
TEL.0745-79-1111

周辺案内図



智辯学園和歌山小学校

〒640-0392 和歌山県和歌山市冬野2066-1
TEL 073(479)1200　FAX073(479)2827
http://www.chiben.ac.jp/wakayama

併設校

智辯学園和歌山中学・高等学校